

土壌・気象条件に合わせた 水稲栽培技術を学び、伝える

佐々木 由佳 准教授 SASAKI, Yuka



キーワード： 稲作技術， 土壌の堆積様式， 気象

専門分野： 栽培土壌学

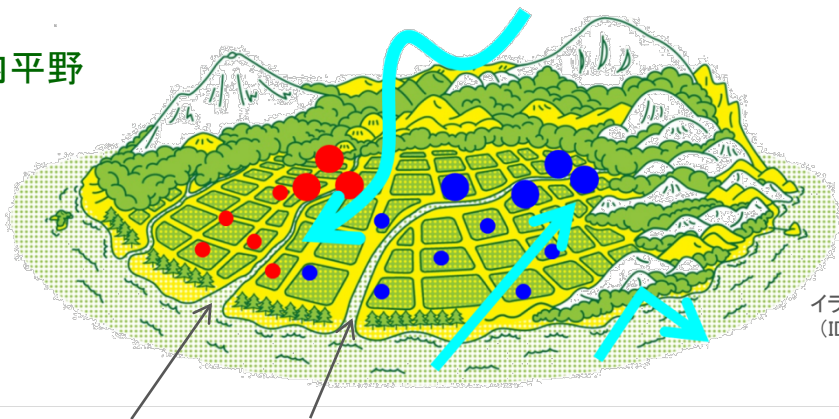
連絡先Email： yukas@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

研究内容

山形県の単位面積あたり水稲収量は全国2位。これは山形の土壌や気象が良いからでしょうか？それとも農家の栽培技術が優れているからでしょうか？私は両者の相乗効果だと考えています。

地形が土壌と気象の条件を地理的に変化させることは多くの研究で明らかにされています。一方で農家は水田ごとの土壌・気象条件の違いとそれに対する水稲の反応を知っています。私は庄内平野においてこれらの知見を合わせ、地形→土壌・気象条件→農家の栽培技術→水稲の生育・収量の関係を明らかにし、次世代の農業経営者に役立つ情報をまとめたいと考えています。

庄内平野



イラスト：三浦 雄大
(IDEHA Creation)

庄内平野は最上川や赤川などの河川によって土壌が堆積した河成沖積平野です。土性は川から遠くなるほど細かくなります(●→●)。土壌の性質は川の上流地質によって異なります(●、●)。庄内平野には“清川だし”や海風の通り道があります(→)。